

■理事会 Report

理事会活動の現況について

日本風力発電協会 副代表理事 **三保谷 明**

J Power 電源開発株式会社 風力事業室長

1. はじめに

有限中間責任法人「日本風力発電協会」は、法人格を有する我が国唯一の風力業界団体であり、理事会は協会業務の執行機関として協会運営に関わる重要事項を決定するとともに、各専門部会からの報告、提案について審議、承認を行っています。5月27日の第3回総会において理事14名、監事2名選任をご承認頂き、法人発足以来3年目の理事会活動を開始しました。

2. 新理事会の構成

第3回総会後の臨時理事会において、代表理事1名、副代表理事2名の他、各理事の担務を互選により以下のとおり選任、決定しました。代表理事：江口肇、副代表理事：三保谷明(財務担当、企画部会副部会長)、赤羽博夫(技術部会部会長)、理事：吉田悟(技術部会副部会長)、平林修(同副部会長)、鈴木和夫(系統部会部会長)、石川勝也(同副部会長)、坂本寿美雄(同副部会長)、鹿野敏(環境部会部会長)、後藤康弘(同副部会長)、高橋博(国際部会部会長)、石原茂雄(同副部会長)、木村(同副部会長)、鈴木章弘(企画部会部会長)、監事：鈴木徹、北野泰正
また風力他団体との連絡組織である風力エネルギー連絡協議会の委員として、江口代表理事、三保谷副代表理事を選任しました。

3. 理事会の開催状況

昨年度当初は隔月第3水曜日を開催日としてスタートしましたが、昨今の事業環境の動きに迅速に対応するため、昨年度第3回理事会(7/18)以降は、原則毎月開催(第3水曜日)に変更し、協会本部近くの千代田パークサイドプラザ会議室において開催しています。

理事会では、代表理事を議長として、入退会状況や収支状況(損害保険事業含む)、事務局会議や各部会の活動状況等の定例報告の他、事務局、各部会ならびに各理事からの付議、提案に基づき、協会運営や協会事業、国や外部関係団体への働きかけ、対応方針等、協会活動における重要事項の審議、承認を行っています。

4. 昨年度理事会の審議内容

▶外部団体等との連携・協調等に関する事項
洞爺湖サミット開催を控え、地球規模環境問題がクローズアップされる中、昨年度は多くの再生可能エネルギー関連団体等から連携、協調の申し入れがありました。これも本協会のステータスが高まった証左でもあります。理事会ではその対応について、本協会や風力業界にとっての有益性を吟味しながら審議しています。

- RE2007 へのパネル参加
- Green Power Campaign への出展、パネル参加
- 地球環境イニシアティブからの参加依頼
- グリーン電力購入フォーラムへの加盟
- NEW 環境展への協賛
- Wind Day in 横浜への協力

▶業界代表団体としての対応責任事項

また風力業界を代表する責任団体として、以下の働きかけ、対応について審議しています。

- JEMA 提案への対応
- 風力発電系統連系量拡大策(対電力、METI)
- 改正建築基準法に関する要望(対国交省)
- IEA 統計算定(12月末導入量)への協力
- NEF 風力委 2020年導入目標値(10GW)の承認
- 事業者団体の公正取引委員会への届出
- NEDO 故障・事故委員会調査員への予備登録
- 政府への風力4団体要望書
- 蓄電池委員会(三菱総研)への協会員推薦
- NEDO 日本型風力発電ガイドラインへの対応

▶協会運営に関する事項等

この他、ホームページ、カレンダー等の広報活動、総会、賀詞交換会、フォトコンテスト等の行事や協会の定款、組織の見直し等、協会運営に関する事項について、会員各位にメリットのある協会活動の充実を目指して審議しています。

また今後の更なる風力業界の発展、拡大を目指すには、政財官界、国民各層への影響力、責任能力を持つ強力な業界団体が必要との観点から、新たな風力団体の設立等について議論を始めていますので、会員各位からも積極的なご意見、ご提案を期待しています。